

稲作防除特報

(中生・晩生版)

令和 4 年 7 月 1 5 日
 入善産米品質向上対策本部
 黒東地域農業技術者協議会

～斑点米カメムシ類の発生に注意！被害防止に努めましょう～

今年、気温が高く推移していることから、斑点米の要因となるカメムシ類は、畦畔や雑草地に多く生息しています。収量や品質低下につながる斑点米カメムシ類や紋枯病、いもち病などの基本防除を徹底し、被害の発生防止を図りましょう。



アカスジカスミカメ

「コシヒカリ」、「ミルキークイーン」など中生 及び「てんこもり」など晩生の基本防除 (10a 当たり散布量)

防除時期	中生	1 回目 走り穂 7月25日(月)～7月27日(水)	2 回目 穂揃期 8月2日(火)～8月4日(木)
	晩生	1 回目 走り穂 7月28日(木)～7月30日(土)	2 回目 穂揃期 8月5日(金)～8月7日(日)
粉剤体系	ブラシントレバリダ粉剤 DL (いもち病、紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)		ラブサイドキラップ粉剤 DL (いもち病、カメムシ類、ウンカ類)
	4kg (収穫 14 日前まで)		4kg (収穫 14 日前まで)
液剤体系	スタークル液剤 10 +モンカットフロアブル (紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)		ラブサイド K2 フロアブル (いもち病、カメムシ類)
	1000 倍+1000 倍/100～150 ℓ (収穫 14 日前まで)		1000 倍/100～150 ℓ (収穫 14 日前まで)
ラジハリ体系* (ドローン防除)	スタークル液剤 10 +モンカットフロアブル (紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)		ラブサイド K2 フロアブル (いもち病、カメムシ類)
	8 倍+8 倍/0.8 ℓ (収穫 14 日前まで)		8 倍/0.8 ℓ (収穫 14 日前まで)

※ 1 回目及び 2 回目防除の間隔は、10 日以上あけ過ぎないようにしましょう。

※ 無人ヘリコプターの散布予定時期は、折込みチラシなどで別途ご案内します。

○薬剤散布時の留意点

- ・ 1 回目の防除は、株元に薬剤がかかるように落水状態で散布しましょう。
- ・ 使用基準を厳守し、周辺作物への農薬飛散防止に努めましょう。また、露のあるときや稲の開花中の散布は避けてください。
- ・ 水田周辺(畦畔や雑草地など)にも、薬剤がかかるように散布しましょう。

○ほ場管理時の留意点

- ・ 斑点米カメムシ類の被害を助長する、水田内のノビエやホタルイなどの雑草は抜き取りましょう。
- ・ 畦畔などの雑草も、斑点米カメムシ類の住みかとなるため、雑草の穂が出ないように管理しましょう。